

2018年3・4月号

特集：ますます高度化するイメージセンサー

CCDおよびMOSデバイス技術のイメージセンサーへの応用が始まってから30年余り経った。当初は数十万画素のデジカメが最先端であったものが、今や一千万画素を超える画素をもつスマホが当たり前になった。特に、CMOSイメージセンサーの発展が著しい。画像・映像機器の最重要基幹デバイスであるイメージセンサーは、デジタルカメラだけでなく、その使われ方が多様化している。例えば、車載用、監視カメラ用、ロボットの眼など、ビデオ系を中心に急激に広がっている。それぞれの利用分野でイメージセンサーの高度化が進んでいる。高度化とは、1. 高画素数化、2. 高速化、3. 高ダイナミックレンジ化、4. 高感度化、5. 高（演算）機能化、などである。さらに、産業用・科学技術用途にも新たな応用分野が次々に生まれている。これらの展開に対応すべく、イメージセンサーの性能・機能を把握することを、本特集の目的とする。

No.	タイトル	執筆者
1	特集のポイント	OplusE編集部
2	総論：最近のCMOSを中心としたイメージセンサーのトレンド	名雲技術士事務所
3	スチルカメラ用を中心に 1. 中判カメラ 2. フルサイズカメラ	元ニコン
4	Next Generation CMOS Technology for High Performance Imaging	テレダインe2V
5	複数の画素変換ゲインを用いた単一露光広ダイナミックレンジ CMOSイメージセンサー	ブリルニクスジャパン
6	8Kカメラ（用イメージセンサー）	N H K放送技術研究所
7	限界時間分解能の理論に基づく50 psのシリコンイメージセンサーの設計	大阪大学
8	プログラマブルセンサーによるコンピュータショナルフォトグラフィ	大阪大学

※特集予定は都合により変更になる場合があります。詳細は営業担当にお尋ねください。

発行日：2018年3月25日
 申込締切：2018年2月23日
 原稿締切：2018年2月28日